

生協の現況 2024.3.1現在

組合員	29,620人
出資金	14億8,879万円
一人平均	50,263円

2023年度増加	
組合員	1,027人
出資金	7,303万円



一人は万人のために万人は一人のために

2024年4月号

機関紙 東京ほくと



ほくとLINE

ほくとLINE



東京ほくと医療生活協同組合

住所 〒114-0003 東京都北区豊島3-5-6
 発行「東京ほくと」編集委員会 TEL.03(3913)9100
 ホームページ <http://www.t-hokuto.coop>

みんなで活用 つどいの広場はない

～多様な用途で気軽に使える～

生協活動以外の利用も可能

一昨年10月に現在の場所へ移転した「ないろ」。名称も「つどいの広場はないろ」と改め、地域の人々が集うスペースになってきました。

《フードバンク》

近隣地域対象に独自開催医療や生活の相談の場も

3月2日、東京ほくと単独でフードバンクを初開催しました。21人が利用し、そのうち5人が医療・生活相談を受けました。今回は知人の紹介や町会



食品以外に文房具やオムツなども配布

《癒し体験広場》

体験者の反応が励みに学び交流できる新企画

訪問看護ステーションほくとが行う「癒し体験広場」が3年目に。タッチケアとフットケア、 Cheneyザンとたくさんの方が来て「行くのが楽しみ」「体が軽くなった」などの声をも



フットケアで長年の悩みが改善した方もいる

・団地の提示版、都営団地と豊島地域に配布したチラシを見た小学生から高齢者まで幅広い層が参加しました。ゆったりとした雰囲気「相談しやすくよかった」と感想がありました。今回の会場「つどいの広場はないろ」は、安心して住み続けられるまちづくりを目的に、地域の交流・出会いの場として設けました。広い年代に学習会やサロン、展示会やイベントで利用できる会場です。エアコン完備、液晶画面(DVD上映可)、椅子20脚、折り畳みテーブル8つ、ホワイトボードとWiFi環境

らっています。

新たに今年度から、地域の方と交流をしながら体に良いこと・自分を守ることに、災害や感染対策を考える場とし、地域の広場を企画しています(毎月第2・3・4木曜。週ごとに内容が違います)。多くの方が来て学び、交流していく中で「こんなこともして欲しい」という声に答えていきたいと思っています。(訪問看護ステーションほくと所長・橋本明子)

境もあります。人と人のつながりには居場所が必要です。組合員の生協活動には利用料無料で

《ロココクラブ》

教員が学習を支援して入試合格の報告嬉しくロココクラブの活動を始めて5年になります。会場が現在の場所へ移り、使いやすくなりました。



真剣に踊る姿が通行人の目をひく

《キッズダンス》

【FIRST】

楽しく踊る子どもたち 下校後集まる最適な場 王子生協病院健康フェアでのキッズダンス体験後に要望があり、1月からレッスンを始めました。毎週、基本的には子どもたちの希望する曲を踊り、リズムトレーニングやヒップホップ、レゲエ、ジャズなどさまざまな音楽、ダンス、文化にも触れています。動画

《なでしこ班会》

コロナで休止の班を再開 体操して声出して笑って

コロナ前に月2回行っていた体操班を、昨年度末月1回から再開。中心メンバーは支部運営委員で、支部外の組合員も誘い5、6人で行っています。



班会で集まり気持ち良く、楽しく

健康チェックの後、北区



少人数でゆったりと教えてもらえる

小中学生の宿題、ドリルなどの学習支援をしています。元・現役時間講師の教員のほか、ときどき医学生も手伝いにきます。宿題を終えたら、読書や将棋、オセロなどのゲームを一緒にします。最近の朗

報は、高校入試に自信がなかった子ががんばって合格したことです。(学習支援ロココクラブ代表・上野やす代)

を共有して家でも振り返って練習できるよう工夫しています。

つどいの広場はないろは、小中学校に近くて通いやすく、バス停も近くてわかりやすい立地です。スパーやコンビニも近くにあるので便利です。十分な広さがあり、通信環境も整っています。そして窓が大きくて開放感があり、子どもたちがのびのび過ごせているのも良い点です。(Studio R FAL JAM代表・CHIE)

が推進している「ご近所体操」を参加者全員でゆっくりします。水分補給して、後半はさくら体操を2回します。最後に笑いケア体操を5分行い、参加者からは「声を出して終わるのが楽しい」と感想が出されています。(豊島4丁目支部長・中西洋子)

注射器

春本番、新年度がスタートして、職場でも学校でも意気高く仕事と学業に打ち込む姿も見られます。一方

で、4月から社会保障の料金値上げという、庶民にとっていっそう負担が増える状況もあります。国民健康保険料と介護保険料です。国民健康保険料は年収によって料金が異なりますが、後期高齢者の保険料は2年ごとに値上げされます。昨年66万円、今年73万円、来年は80万円という年額です。介護保険料は3年に一度の見直しで、基準となる第5段階が月額6480円から6920円、月440円の値上げに。国の負担率を引き下げて来たことが問題です。負担金を50%に戻すことが求められます。▼さらに問題なのは、今年度から介護事業所に支払われる介護報酬の引き下げです。基本報酬引き下げが行われると事業者が成り立たなくなります。さらにヘルパーが不足、サービスが受けられなくなる地域も出ます。特養ホームなどには要介護3以上でないとい入れなく、自宅介護を勧めた政府が、訪問介護の報酬を引き下げるとは本末転倒、言語道断です。▼年金は今年度2.7%増と言いますが、物価指数は3.2%なので実質は減額です。軍事費に莫大な予算をつぎ込むのではなく、安心して暮らせる、生きられる医療・介護にこそ税金を使うべきです。今年度はぜひその方向へ舵をきって欲しいものです。(湯)

理事会だより 3月16日

理事長あいさつ

今泉 貴雄



暖冬で、例年より早い桜の開花が予想されています。コロナが5類になり初めての花見を楽しみたいです。

毎年訪れる別れと出会いの季節でもあります。2度とは来ない今を楽しむ、そんな気持ちになります。

コロナ、一般診療扱いに施設対応も変わり、不安

コロナも丸4年経ち、この4月から国の対応もまた変わります。これまでの医療費補助がなくなり、完全に一般の医療保険制度での対応となります。

そのため検査、治療に関わる全医療費に、個人の支払いが発生します。そしてコロナにかかった軽症から中等症、主に要介護状態で

《理事会議事録要旨》

報告事項

①2月組織活動報告：加入46人、脱退36人、出資金増資383万円、増資者642人、班会開催84回、新班結成0班、2項組合員3人。②2月決算報告。③総代会議案協議。④2024年度暫定予算案協議。⑤新入職員紹介および研修日程報告。⑥総代会までのスケジュールおよび臨時理事会開催の報告。⑦総代への事前説明会案内を文書報告。⑧2024年春闘回答を文書報告。

決議事項

①2024年度暫定予算案の件 ②骨密度測定器の購入の件 ③長期不明組合員の自由脱退処理の件 以上、議決した。

療養観察が必要な方を対象に、施設で見てくれる制度も終了となります。

そのことがどのような影響を及ぼすのでしょうか。入院でなく施設に転入してもらうこともあったため、いろいろな不安があります。王子生協病院でも、特に入院が必要と判断される患者対応をどうすべきか、改めて検討が必要です。

DNARの課題を学ぶ 患者受け入れにも影響

先日、医療・介護職を対象とした学習会に参加しました。ACPとDNARに関する話は、人生の終末期において自身の希望する医療やケアを前もって家族や医療者と話し合うことです。

そしてDNARは、がんの末期などで心停止または呼吸停止した際に心肺蘇生、すなわち心臓マッサージ、人工呼吸をしないという医療者の指示です。DNARは医療者でも誤解されていることも多いです。

特にコロナ禍では、感染

者の救急受け入れの際にDNARの有無を確認され、医療機関がDNARの方を「断る」「受け入れる」という、住民にわかりにくいことも起きました。在宅療養が困難で施設入所が必要な方の受け入れの際、がんだけでなくDNARが要求されることも多々あります。

生き方考える「人生会議」 医療・介護者も共に検討

東京ほくとではACPに関して、その時点での思いを書面に残す必要から「私の医療の希望書」として書式を用意しています。関心のある方は職員に声をかけてください。

以前、ACPについて「今の考え、思いを記入してみてください」と言ったところ、参加者に「まだ(若いから)(元気なので)考えられない」という方がいました。人はそれぞれ、想像上でも、自分の終末期について受け入れるのに適切な時期があると、印象に残った次第です。

ACPの重要性は、最期をどのように迎えるか考えていくだけでなく、亡くなるまでの人生をどのように生きていくか改めて考えることといえます。私たち医療・介護に携わる者として掲げる「地域の主治医」としての役割も、このことについて組合員と一緒に考えていくのが課題です。

療養支援する中で、私たちは家族や友人、地域や在宅サービスチーム、医療機関など多くの支援者との連携を実感します。80代のAさんは、がんで当院緩和ケア病棟に入院となりました。法人内診療所からの紹介でした。

医療と介護の現場

多職種連携で支える 患者の願いを叶えて



入院中に一度、病棟職員と自宅を訪問しました。Aさんは体力的にキツイと感じましたが、これをきか

た。闘病中でも素敵な表情で「これを遺影にしたい」と看護師に話しました。「最期の年越しになるかもしれない」「お酒を飲みたい」という思いを抱え、在宅チームの支援を受けて退院。2週間ほど自宅で生活した後、年明けに緊急入院となり職員

兄弟と疎遠だったため、本人の意思を尊重しました。施設入所や在宅退院など退院方針が決まらず、Aさんもうつしたらしいのかと悩み、ときには病棟職員に感情をぶつけることもあり

けに在宅退院の気持ちが強くなったと思います。入院中に誕生日を迎え、病棟で記念撮影を行いました。面会や連絡が数回ありま

た。闘病中でも素敵な表情でしたが、最期には間に合いませんでした。看取りの報告をした際に「会いに行きたかったが高齢で行けなかった」と話しました。

誕生日の写真を遺影にして欲しいと本人が話していたと伝えると、ぜひ譲ってほしいと申し出があり、病棟職員も快く承諾しました。Aさんの望みをどこまで支援できたかはわかりませんが、生活してきた証を兄弟に報告したことをAさんが喜んでいて良いと思います。(王子生協病院医療ソーシャルワーカー・瀬尾真奈美)

区民の声届けて変える

災害用ラジオ支給へ

北区自治体交渉

3月8日、東京ほくとが参加する区民要求実現北区連絡会が北区と交渉しました。当方は14人、区側は9人が出席しました。



子育て・教育、高齢者、社会保障など幅広い内容で要請した

要請書はいのちやくらし、まちづくりに関する30分野、280項目で構成され、なんでも相談会に寄せられた切実な事例も紹介しています。

「在宅酸素の高齢患者の電気が止められた」という王子生協病院の事例について発言がありました。

見守り活動をしている豊島5丁目団地自治会員から「孤立死、夜逃げは珍しくない」、なんでも相談会で「8万円の家賃が払えず強制退去寸前、税金が払えない」という声が紹介されました。

こうした現実を裏づけるように、国民健康保険料など税金滞納者への差し押さえは3000件を越え、子育て世帯への差し押さえも32件含まれています。

今年、東京ほくとの理事から困窮者支援に関して発言がありました。無料宿泊所の質の担保や、自立して生活できるようにするための支援を求める要求と「福祉課に来る方は困難な

状況下にあるため、より丁寧な対応をお願いしたい」と訴えました。

視覚障がい者の災害発生時の必需品として6年前から要請してきたテレビ放送が聞けるラジオが、今年になって支給されました。

行政は区民の要求実現が仕事ですが、現状をよく知らないところが弱点です。そして貧困や孤立にどう立ち向かうかという具体化も苦手です。区民が事例を通して声をあげることで、要求を実現して行政を変えていく一歩となります。

(区民要求実現北区連絡会 事務局 森松伸治)

〈組合員の資格および脱退・減資について〉

※東京都に住所または勤務地を有する方は、組合員になることができます(定款第6条)。転居や亡くなられた場合はご連絡ください。 ※当医療生協からの脱退・減資につきましては、定款第10条(自由脱退)および第17条(出資口数の減少)によって、事業年度末の90日前(12月31日)までに連絡をいただき、年度末(3月31日)に処理することが基本となっています。お困りのことがあればお気軽にご相談ください。

東京ほくと医療生活協同組合 本部組織部 TEL:03-3913-9100

王子生協病院は、個室も含め全室差額ベッド料はいただいております。

- ②制度教育として、全職員対象の研修で接遇の向上をめざします。
- ③幹部育成の研修として、職場責任者を対象としたマネジメント研修を実施します。
- ④地域ごとのエリアマネジメントについて検討を開始します。
- ⑤恒常的な後継者確保の組織づくりを検討します。
- ⑥医療福祉生協の機関誌「comcom」やブックレット「みんなで学ぶ医療福祉生協」などを学習します。
- ⑦医療福祉生協の通信教育へ積極的に参加します。



のべ58人の職員が参加したLGBTQ研修会

<後継者確保の目標>

医師：初期研修医2人、専攻医（後期研修医）4人、既卒2人／看護師：新卒8人、既卒10人／リハビリ：新卒3人、既卒4人／介護職：新卒2人、既卒10人／病院介護職：新卒2人／事務：3人

【2023年度の健康まつり】
●王子生協病院健康フェア



流行りの歌で楽しくキッズダンス



笑いケア体操で声を出して大笑い



スクエアステップ体験会

●荒川区民いきいきまつり



●生協北診療所健康まつり



●鹿浜診療所ふれあいまつり



4 働きやすい職場づくり

東京ほくとの職員として「誰のために」「何のために」を共有しながら、やりがいを持って育ちあえる環境づくりをします。

- ①HPH*3・SDH*4・SDGs*5の学習、地域活動に積極的に参加します。事例検討を重視し、研究交流会などで発信していきます。
- ②心理的安全性のある職場づくりとメンタルヘルス、職員面談、相談活動をすすめます。
- ③業務の効率化、見直しで残業削減を試みます。
- ④医師の働き方改革*6へ対応し、労働環境の整備に努めます。
- ⑤研修医・専攻医の育成を継続し、東京ほくとを担う医師養成をすすめます。



感染対策のためオンラインで開催した新入職員対面式（王子生協病院）



医師によるポートフォリオ発表会

5 経営課題

2024年は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス同時改定、医師の働き方改革などさまざまな制度が改定・開始されます。それらに対応しながら、退職金、事業所の建て替え、医療機器購入などの大型投資に備えるための「必要利益が出せる経営構造」への改革に着手する大事な年度です。

全事業所の継続と、職員の労働条件を維持するためにも、必要利益の確保は必須となります。2024年度の経常利益は、福祉医療機構返済用資金も含めて1億7,700万円を目標とします。

- ①今後5年間の現預金（運転資金）を減らさない必要利益（年平均9,700万円）に早期に到達するための事業活動も含めて、経営構造の転換を図ります。
- ②部門別損益、月中の予算管理などをさらに練り上げ、経営マネジメント力を高めます。
- ③出資金（資産）を増加するために、引き続き組合債券（負債）を出資金へ振り替えることをすすめます。

6 生協組織の拡大強化の課題

仲間増やし1,500人／増資1億5,000万円／新班55班／班会開催1,000回／新たな担い手150人をめざします。

- ①組合員活動では、仲間増やし目標の倍の「新しいつながり」をつくります。そのためにさまざまな工夫をして活動します。
- ②職員は、講師など専門家としての役割を生協活動で発揮します。組合員の困ったときに応えるため、相談を受ける力を向上させます。そのために、全職員が機関紙配付と生協活動（年1回以上）に参加し、地域とのつながりをつくります。



担い手探し訪問活動



支部長交流集会

7 第4次中期計画

今年度は、第3次中期計画最終年となります。2025年～2029年度の第4次中期計画の策定に向けて、年間の行程表をもとに、職員と組合員の協議を行います。

【第4次中期計画の行程イメージ】

2024年3月頃	事務局会議開始
5月頃	策定委員会開始
6月～8月	小委員会開催と職場や地域での討議
秋頃	骨子策定
2025年1月頃	ミッションとビジョンの策定
6月	総代会で提起

【用語解説】

- *1：担い手
機関紙配付や支部活動を運営する方を増やすとりくみ
- *2：LGBTQ
Lesbian（レズビアン）、Gay（ゲイ）、Bisexual（バイセクシュアル）、Transgender（トランスジェンダー）、Queer（クィア）／Questioning（クエスチョニング）の頭文字を取った、幅広いセクシュアリティ（性のあり方）を総称する言葉。日本人口におけるLGBTQの割合は3%～10%と言われる。多様性を人権と捉え、LGBTQやジェンダー平等を意識した研修を東京ほくととして行っている
- *3：HPH（Health Promoting Hospitals & Health Services）
WHOの宣言に基づき、1991年欧州で制度が開始された。医療機関が医療の質と地域や環境を改善し、患者と家族、スタッフの満足度を向上させることを目的としている。HPHが働きかける対象は、患者と家族（特に弱い立場の人々）、病院スタッフ、地域住民と社会環境
- *4：SDH（Social Determinants of Health）
健康の社会的決定要因。本人の責任ではなく、生まれた社会環境によって健康格差が生まれる。このような健康格差を生み出す政治的、社会的、経済的要因
- *5：SDGs（Sustainable Development Goals）
2015年9月に国連が採択した「持続可能な開発目標」。2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット、およびその進展を評価するための指標を持つ、包括的な目標。「世界の貧困をなくす」「持続可能な世界を実現する」ことをめざす
- *6：医師の働き方改革
2024年4月よりすべての勤務医に時間外労働の上限が適用され、守ることが義務づけられる。医師のいのちと健康を守ること、労働時間短縮や勤務環境整備・改善にとりくむことが各医療機関に求められる

2024年度活動方針(案)

4つの柱

テーマ 1 困ったときにたすけあえる健康なまちづくりをめざし、新しいつながりを作ろう



テーマ 3 いのちの尊厳と人権が大切にされる社会をめざし、社会保障制度を充実させよう



テーマ 2 後継者を生み出し、経営を健全化し、暮らしを支える医療・介護活動をすすめよう



テーマ 4 大軍拡ストップ・核兵器廃絶で世界と日本の平和をめざそう



2024年度は第3次中期計画の最終年となります。そして、第4次中期計画策定の議論も開始されます。コロナ禍で地域では貧困格差・生活困窮が広がり、社会的孤立の増加からフレイルや認知症も増えています。組合員・職員の共同の営みで、4つの柱を具体化し実践していきましょう。

1 困ったときにたすけあえる健康なまちづくり

(1)健康なまちづくり

①健康づくりの新たな担い手*1育成のため「健康づくりサポーター養成講座」を実施します。気軽に誰でも参加できるように5コース(健康チェック・すこしお・運動・お口の健康・脳いきいき)に重点を絞り、卒業後は各コースのサポーターとして認定します。



②新たに「つながりストレッチ交流会(滝野川)」なる健康づくりとしてモルックなど多世代が参加しやすい企画を行います。

③健診の受診者を広げるため、班会や支部で健診の呼びかけや健康チェックを位置づけるなど、働きかけます。利用者視点での健診内容、メニューを検討します。

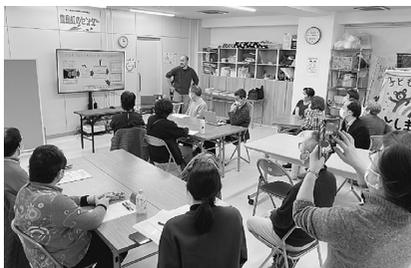


荒川ラインウォーキング

(2)たすけあい活動と利用しやすい事業所づくり

【たすけあい活動】

①福祉たすけあいまつりを開催し、日頃のサロン・班活動の発表、組合員同士が交流しつながらる場として活用できるよう発展させていきます。



困窮者支援学習会

②ささえあい活動の現状について情報を集め、職員・組合員に周知する機会を模索します。「ささえあいシート」の活用・普及に向けて振り返りを行い、検討します。

③「ぼうさいニュース」発行で地形や地域の防災設備など情報提供して、災害を「わが事」として捉えられる学習会を行います。

④購買生協や社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと連携し、まちづくり会議などを通して防災や生活支援をともに考えていきます。

【利用しやすい事業所づくり】

①患者満足度調査を各事業所で実施します。調査内容に分析と対策を行い、事業所の質向上をめざします。



事業所利用委員による江北生協診療所の清掃活動

②いのちの章典の実践を念頭に、各事業所での患者・利用者からの声を受け止め、地域で果たす役割を考えます。

③法人内の各事業所で組合員による事業所訪問と点検を行い、事業所の質向上につなげます。

(3)くらしと社会保障・平和をまもる

平和、社会保障、貧困対策、自治体要請運動を中心に学習を位置づけます

- ①あらゆる戦争に反対の立場で、平和を守る行動を呼びかけます。
- ②いのちとくらしを守る社会保障の活動を他団体と共同し地域に広げます。
- ③貧困や格差拡大で必要な支援(アウトリーチ)を、他団体と協力して行います。
- ④各自治体の施策を学び、身近な要求運動を組織します



さよなら原発集会(北区)

(4)広報活動

- ①あらゆる世代に東京ほくとや事業活動を知ってもらうために、ホームページやSNS、機関紙などの内容を工夫し充実します。
- ②職員も地域組合員とともに考える材料として機関紙を活用します。
- ③広報担当者の配置をめざします。



マイナ保険証反対署名行動(王子駅前)

2 患者、利用者に親切で安心のサービスを提供

- ①在宅医療を強化します。外部への宣伝、つながりづくりなどをより強め、体制の強化をめざします。
- ②医療と介護の法人内外連携を強化し、質向上に努めます。
- ③診療所での無料低額診療事業の実現をめざします。
- ④生協北診療所建て替えについて、早期に法人の方針を決定します。
- ⑤「誰でもかかりやすい事業所」をめざし、LGBTQ*2の方も安心して利用できる事業所の具体化を進めます。
- ⑥IT化の導入によるサービス向上を進めます。



組合員参加の新入職員研修



土曜日糖尿病教室

3 育ちあいの人づくり・後継者確保

- ①班会の職員参加や組合員と職員が行う地域訪問・イベントを促進します。

いました。

北区、足立区社保協に参加し、北区高齢者集会実行委員の選出、戦争展などの企画に参加、足立区介護保険署名などにとりくみました。各自治体の予算要望書づくりに対し、意見を集約し、各自治体の公聴会への参加を呼びかけました。

日本高齢者大会で参加費用一部補助を行い、85人が参加。平和、社会保障、気候変動、ジェンダーなどの学びを深めました。10.19国民大集会、5.3および11.3憲法集会に職員・組合員が参加しました。



王子駅前公園でなんでも相談会

なんでも相談会には医師、看護師など職員と組合員が要員として参加しました。さまざまな事情で住まいを失った人に泊まる場所と相談窓口を紹介する「せかいピバーク」に2人の利用がありました。

(5) 機関紙について

戦争体験を引き続き掲載しました。組合員に貴重な話を語り継いでもらう機会となっています。より幅広い層を意識した掲載内容を工夫し、新規の方の投稿も増えてきています。

2 患者、利用者に親切で安心のサービスを提供

- ①在宅医療推進のため、紹介窓口の一本化と各事業所間で調整を行うシステムを稼働させ、診療所ではケアマネジャーへの情報発信を強化し、新規紹介増につなげました。生協浮間診療所で事務スタッフによる訪問診療のアシスタント業務を開始しました。法人の在宅課題を検討する部門会議を新たに設置しました。
- ②発熱外来・ワクチン対応など、地域ニーズにあわせた外来診療をすすめました。
- ③感染対策に力を入れ、コロナ患者の入院受け入れを継続しました。
- ④患者満足度アンケートを歯科・介護事業所・王子生協病院で実施しました。荒川生協診療所が外来で調査を再開しました。
- ⑤訪問看護ステーションが「癒し体験広場」を継続し、看護ケアの内容を地域に向けてアピールしました。
- ⑥各診療所で近隣事業所訪問、地域のケアマネジャー向けの学習会や合同症例検討会、青空健康チェック、小学校での出張授業などを実施しました。生協浮間診療所の職員が関わった、犬の散歩を通じたコミュニケーション企画「わんわんプロジェクト」は医療福祉生協の機関誌「comcom」で紹介されました。
- ⑦生協北診療所建て替えについて、物価高騰による建設費用増、透析経営の悪化などの内外環境変化から、外部コンサルタントに調査を依頼し、実現可能な計画を模索しました。後継者課題などもあり、残念ながら年度末で透析部門を終了することとなりました。
- ⑧介護職員の確保が困難な中、非常勤・中途採用職員の確保と育成に努めました。度重なる介護保険制度見直しの影響もあり、利用者の減少が続いていた荒川生協診療所通所リハビリ事業は、残念ながら今年度末で終了としました。

3 地域組合員と職員組合員の育ちあいの人づくり

【制度教育】

LGBTQ研修会を年間4回実施し、職員計58人が自分の職場について意見交換しました。管理者・役職者対象に面談研修を年間3回実施し、計74人が参加しました。医療福祉生協の通信教育に職員・組合員51人が参加しました。新任理事研修会を1～3月連続講座として実施し、7人が参加しました。

【その他】

- ・看護研究交流集会を開催し、活動報告と交流を行いました。
- ・事務集会を開催し、活動報告と経理学習を行いました。
- ・介護職なかまの会を開催し、医療的ケア学習と交流を行いました。
- ・全医師集会を年2回開催し、活動報告や交流を行いました。

4 働きやすい職場づくりと人材育成・後継者確保

コロナ禍におけるメンタルヘルス対策として、法人全体のストレスチェックを実施しました。

<後継者確保の実績(研修医および新卒は2024年入職)>

医師：初期研修医1人、専攻医3人、既卒1人／歯科医：初期研修医1人／看護師：新卒2人、既卒10人／リハビリ：新卒1人、既卒2人／介護職：既卒非常勤8人／事務：新卒3人、既卒1人

5 経営課題 (決算数値は11月終了時点での見込み)

①今期の事業収益は49億4,700万円、予算に対し▲3億1,200万円の大幅未達となりました。上半期は主にコロナ患者受け入れ病床以外でのベッド稼働低下と発熱外来の減少、10月以降はさらに診療報酬の特例措置縮小も加わり日当円も低下、透析件数と介護通所系利用者数は年間を通して予算未達が続きました。

一方、費用では人件費は予算人不足が続き▲7,055万円、発熱外来の減少に伴うPCR検査委託費の減少から委託費は▲6,572万円のそれぞれ予算未達。逆に医薬品費はコロナ治療薬で5,871万円の予算超過、事業費用全体では50億6,200万円で▲8,638万円の予算未達(予算内執行)となりました。そして、2023年9月までの王子生協病院コロナ病床確保料などコロナ補助金約5,000万円を事業外収益とし、経常損益は▲5億9,035万円の損失(赤字)となりました。

昨年来、コロナ補助金の縮小や感染症法上5類移行を見据え、経営的な落ち込みを防ぐ出口戦略を検討し、ベッド稼働の回復と外来から在宅へのシフトなどを対策案として各機関会議などで発信・共有しましたが、依然続くコロナ対策と並行してのとりくみであったことなどから、戦略通りの回復やシフトまでには至りませんでした。

②上記①の経常損失(赤字)から、今年度末の現預金残高(＝運転資金)は2億846万円、その月商倍率は0.41です。月商倍率の指標は1.0以上であり、資金繰り上大変困難な状況にあります。そのため次年度(2024年度)は、運転資金とは別に確保している福祉医療機構返済用資金を取り崩して運転資金に回し対応せざるを得ない状況です。

③福祉医療機構返済と生協北診療所建て替えも含めた長期経営計画を作成するため、今期中に管理部を中心に長期経営計画検討会議を複数回開催しました。会議においては本計画の裏づけとなる事業所ごとの長期経営計画を作成しましたが、各事業所課題を継続したままの現状投影計画であるため、次年度は具体的な課題克服計画を含めた長期経営計画に着手し完成をめざします。

6 組織拡大・強化

①2023年度組織到達状況 <1月31日現在>

- 担い手合計＝74人 13支部達成 前年比＋11人
- 新班誕生＝19班 14支部達成 前年比＋6人
- 仲間増やし 合計 981人 12支部達成 3事業所達成
- 脱退合計 942人 純増＋39人
- 増資合計 6,919万3,000円 8支部達成 7事業所達成
- 純増△1,714万8,000円
- 班会開催 660回 前年比＋158回
- 健康チェック12,462回 前年比＋5,080回

5月8日より「マスク着用推奨」を基本とした組合員活動を再開し、さまざまな班活動が再開しました。コロナ前の2019年比較で班開催数は80%となり、生協強化月間目標の80%班活動再開を達成しました。



対話がすすんだ堀船での訪問行動

②コロナ禍で中止していた支部長交流会を、4年ぶりに開催しました。支部長25人(事務局として理事3人、組織部4人、計32人)が参加しました。「初めて参加して、各支部の特徴や悩みも聞いてとても良かった」「定期的開催してほしい」「脳トレゲームが楽しかった」など、支部長の悩みややりがいなど交流できました。

③9月、せーの集会を会場分散型で4年ぶりに開催しました。日本医療福祉生活協同組合連合会の今井好一常務理事の講演後に、参加者105人がグループ討議で意見を出し合い、やってみたいことを共有しました。



4年ぶりに開催した「せーの集会」

10月～12月の生協強化月間ではテーマを「日頃の活動に自信を持って生協の魅力を広げよう、仲間を増やそう」とし、班会やサロンの再開、新班づくり、運営委員・配付者増やしで組合員増やしにつなげることを柱として活動を進めました。月間中に37支部中27支部

が担い手を増やし、昨年を上回る37人の担い手が増えました。月間中の訪問行動は14回開催され、職員26人、組合員42人が参加しました。

新班として16班が誕生し、4班が再開しました。北地域では3支部合同でモルック班会、トーンチャイム班会が開催されています。

第84回 総代会



東京ほくと医療生活協同組合 ダイジェスト版

2023年度活動のまとめ 2024年度方針(案)

はじめに

元日に発生した能登半島地震は、石川県で200人を超える犠牲者が確認されるなど甚大な被害となり、継続的な支援が求められます。東日本大震災をはじめとする過去の教訓を活かし、災害時でも国民のいのち・暮らしを守る政治が求められています。

ウクライナやガザでの戦況は、収束の目途が立っていません。イスラエルによるガザ侵攻に対して、人権団体をはじめ世界中で停戦を求める声が広がっています。

長く続いたコロナ禍で雇用、健康、教育で不平等と貧困が一段と広がり、社会的孤立も増加しています。国内外で続く災害や戦争による危機的な状況、格差の拡大に対して求められているのは、政府が推進しようとしている増税、大軍拡、社会保障の解体ではありません。対話と協議によって紛争解決をめざす表明と、平和を基盤とした人々の命と生活を保護する施策です。

医療機関、介護施設の経営はコロナ禍で厳しさを増し、全国の病院の7割以上が赤字という状態です。医療・介護分野のエッセンシャルワーカー不足と低賃金が注目され、医療と介護の質を担保し人材を確保するには診療・介護報酬のアップしかなく、引き続き政府に対して報酬アップを求めます。

今後、医療・介護と地域の結びつきがますます必要とされる中で、平和・いのち・人権を大切に、誰一人とりのこさない社会をめざす医療生協の役割は重要になります。私たちの共同の営みで、活路を見出していきましょう。



労使共闘署名宣伝行動(町屋駅)

2023年度活動のまとめ

1 困ったときにたすけあえる、健康なまちづくり

(1) 感染対策を重視し、災害に強く、多様な人々がささえあう組合員活動

鹿浜診療所は昨年に続き、王子生協病院、生協北診療所では4年ぶりに健康まつりを開催。感染対策をし、のべ700人が来院しました。荒川生協診療所・汐入診療所も民主団体や地域のまつりに参加し、健康チェックやバザーを実施しました。

王子生協病院は、東京都の災害拠点連携病院に指定されています。12月に初めての「震災対応訓練・緊急救護所設置・動線確認訓練」でトレーニングなどを実施し、病院職員、北区職員、学生など総勢60人が参加しました。

T-CAP(東京ほくと気候アクションプロジェクト)が4月・5月に北区・荒川区長選挙、3区議選に向け質問状を送付。回答をホームページなどで公開して投票行動に結びつけようとした。映画「マイクロプラスチック・ストーリー」から学ぶ

第2回気候変動学習会には30人が参加しました。倫理委員会主催のもしバナゲーム模擬班会(7月13日)に組合員、職員16人が参加し「人生で最後まで何を大事にしたいか」などをテーマに考えました。

毎月第2・第4火曜に子ども食堂「としま虹」、学習支援「ロコクラブ」が開催されています。「としま



王子生協病院で保健所合同震災対応訓練



もしバナゲームで模擬班会



60人が来場したフードバンク
無料提供と生活相談・医療相談を行いました。

虹」ではさまざまな団体が食材提供をして毎回70食の弁当を配食。「ロコクラブ」では毎回10人前後の小中学生の宿題の支援を行いながら保護者の相談も受けています。

9月と3月につどいの広場なないろで、東京ほくととして初めてフードバンクを実施しました。食材の無

(2) 健康なまちづくり

地域の他団体と協力して、フレイル対策や健康づくりを地域に広めました。年間で骨密度キャンペーン(無料測定)を位置づけ、数支部で測定会を行い、骨粗しょう症予防学習会を実施しました。

スクエアステップは6か所で体験会を開催。新たな指導員も1人誕生しました。

担い手づくりの一環として運動サポーターブラッシュアップセミナー講座を行いました。LINE脳トレ配信は隔週で継続し、現在登録者数は464人となっています。

健康チャレンジは410人(昨年比116%)が登録し、2月にチャレンジ報告会を行いました。3区の社会福祉協議会との協力もあり、幅広い層の参加がありました。

3月には、第10回荒川ラインウォーキングを開催しました。親子参加コースを設置し、若い世代も参加できるイベントへと工夫しました。

(3) たすけあい活動とかかりやすい事業所づくり

【たすけあい活動】

8月に「2023福祉たすけあいまつり」を4年ぶりに開催し、159人の参加がありました。さまざまなサロン・班会を開催した実践を交流しました。

「ささえあいシート」をきっかけに、たすけあい活動や地域でのつながりが継続しています。シートが職員と組合員の連携に活用できるよう促進します。



福祉たすけあいまつり

「ぼうさいニュース」を発行し、地域にある防災公園の紹介や最新のハザードマップなど、防災情報の提供・共有を行いました。

各区で社会福祉協議会や購買生協との連携が進んでいます。3月、北東京生活クラブ「デポーいたばし」での健康チェックを店舗前で実施しました。

「まちづくり北」では2月に北とびあで防災学習会を開催。「足立区まちづくりみまもりたい」では、足立区社会福祉協議会主催のふくふくフェアに健康チェックで参加しました。

「荒川のなかまたち」では他団体とともにあらかわコープカフェを毎月開催しました。

【かかりやすい事業所づくり】

各事業所利用委員会が再開しました。委員会での議論から、虹の箱の設置や投書用紙の内容について改善が進み、少しずつ投書数も回復してきました。歯科の事業所点検が今年も実施され、点検を通じて職員と組合員との交流も深まりました。

(4) くらしと社会保障・平和をまもる

理事会で戦争に反対するアピールを発信し、学習会、街頭宣伝、募金などを行いました。原水爆禁止2023年世界大会に6人、ピースアクションに4人が参加し、参加派遣のためのカンパ活動、平和行進、報告会を行いました。映画「沖縄、再び戦場へ」上映会を実施し、辺野古基地建設の現状を学び、1月に辺野古連帯行動の報告会を行いました。

戦跡ウォーキングは計2回開催しました。署名は「保険証をなくすな」を中心に、労働組合と協力して組合員・職員参加で集めました。

2月に各地運でバレンタイン宣伝を実施しました。生存権裁判の集会に参加し、理事会などで学習会を行



原水禁世界大会に参加した職員と組合員



参加してみませんか

〈班会案内〉

4月15日～5月14日に活動している班会です。興味のある方は、まず組織部までご連絡ください(03-3913-9100)。

【北区】

- 4月17日午前10時～11時半 なでしこ班(体操) つどいの広場なないろ
4月17日午後1時半～3時 きよふじ班(日常の情報交換) 堀船ふれあい館
4月17日午後1時半～3時 さくら班(つどい・サロン) 堀船ふれあい館
4月17日午後2時～4時 りぼん班(折り紙) 豊島虹のセンター
4月17日午後3時～4時半 筋トレ班 ヤマトトレーニングセンター(浮間)
4月18日午前10時～正午 ほっとカフェバザー(バザー品・パン販売・健康チェック) ほっとカフェ(赤羽東)
4月18日午後1時半～4時半 うぐいす班(カラオケ) カラオケ10番十条店
4月19日午前10時～11時半 トーンチャイム班 生協北診療所講義室
4月19日午後3時～4時半 筋トレ班 ヤマトトレーニングセンター(浮間)
4月22日午前10時半～正午 茶話会(ハンドベル、紙芝居、ゲーム ※食事なし・参加費100円) 神谷堀集会所
4月23日午前10時～11時半 モルック班 東十条2丁目高架下公園
4月24日午後4時～5時半 囲碁・将棋班 わくわくステーション(豊5団地)
4月24日午後1時半～4時 童謡班(軽体操) 堀船ふれあい館
4月24日午後3時～4時半 筋トレ班 ヤマトトレーニングセンター(浮間)
4月25日午前10時～正午 ほっとカフェバザー(バザー品・パン販売・健康チェック) ほっとカフェ(赤羽東)

- 4月26日午前10時～11時半 トーンチャイム班 生協北診療所講義室
4月26日午後2時～4時 スイトピー班(脳トレ) 豊島虹のセンター
4月26日午後3時～4時半 筋トレ班 ヤマトトレーニングセンター(浮間)
5月1日正午～午後4時 愛唱歌を唄う会 わくわくステーション(豊5団地)
5月7日午前10時半～正午 モルック班 十条仲原1丁目児童遊園
5月8日午後2時～4時 ほっとカフェひまわり(つどい・サロン) わくわくステーション(豊5団地)
5月8日午後3時～4時半 筋トレ班 ヤマトトレーニングセンター(浮間)
5月10日午前10時～11時半 トーンチャイム班 生協北診療所講義室
5月10日午後3時～4時半 筋トレ班 ヤマトトレーニングセンター(浮間)
5月11日午前10時～正午 ほっとカフェこだま(サロン・ゲーム) 王子3丁目町会会館
5月11日午後2時～4時 パソコン班 豊島虹のセンター

【荒川区】

- 4月16日午後1時～3時 うたう班(音楽鑑賞) 班長宅(荒川町)
4月20日午前10時～正午 スクエア班(スクエアステップ) 荒川生協診療所3階
4月21日午前10時～11時半 荒川音頭班(盆踊り) 西尾久みどりひろば館
4月21日午前11時半～正午 ロングピロピロ班 西尾久みどりひろば館
4月27日午前10時～正午 朗読班(本の朗読と説明) 荒川生協診療所3階
5月11日午前10時～正午 ひまわり班(ころぼん体操) 荒川生協診療所3階
5月13日午後1時半～3時 はらっぱ班(体操) 区立原公園
5月14日午前10時～正午 なかよし班(体操) 組合員事務所(荒川町)

【足立区】

- 4月15日午前10時～11時半 おさんぽ班 はんの木
4月19日午後2時～3時半 げんきかい(サロン) はんの木
4月21日午後0時半～3時 ピンポン班(卓球) 入谷小学校体育館
4月23日午前10時～正午 らくらく体操班 おじゃんせ
4月24日午前10時～11時 コカリナ班(楽器演奏) はんの木
4月24日午前10時～11時半 若返り班(体操) 入谷中央公園
4月25日午前10時～正午 あみもの班 おじゃんせ
4月25日午前11時～正午 はなみずき班(体操) かえで薬局2階
4月28日午後0時半～3時 ピンポン班(卓球) 入谷小学校体育館
5月1日午前9時半～11時半 なでしこ班(絵手紙) かえで薬局2階
5月2日午前10時～正午 花つまみとも班(つまみ細工) はんの木
5月5日午後0時半～3時 ピンポン班(卓球) 入谷小学校体育館
5月6日午前10時～11時半 おさんぽ班 はんの木
5月7日午前10時～正午 らくらく体操班 おじゃんせ
5月8日午前10時～11時 コカリナ班(楽器演奏) はんの木
5月8日午前10時～11時半 若返り班(体操) 入谷中央公園
5月9日午前10時～正午 パッチワーク班 おじゃんせ
5月9日午後1時半～3時半 あみもの班 おじゃんせ
5月12日午後0時半～3時 ピンポン班(卓球) 入谷小学校体育館

〈企画案内〉

- 4月23日午後5時～6時 なんでも相談会 王子駅前公園

外来診療体制のご案内

4月1日現在の体制です(詳しくは、病院・診療所にお問い合わせください)

色文字=女性医師

王子生協病院 北区豊島3-4-15 ☎3912-2201 健康診断予約専用電話 3912-5181

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後, 夜間). Rows include various medical services like 内科, 小児科, 家庭医診療科, etc.

(受付時間) 午前8:45～11:30/午後1:45～4:00/夜間5:15～7:30 【呼】=呼吸器内科、【循】=循環器内科 【腎】=腎臓内科、【心】=心療内科 救急・急患の方は随時受け付けています

生協北診療所 北区東十条2-8-5 ☎3913-5271

Table showing clinic hours for 生協北診療所 by day (月, 火, 水, 木, 金, 土).

(受付時間) 午前8:30～11:30、午後1:00～4:15

荒川生協診療所 荒川区荒川4-54-5 ☎3802-2601

Table showing clinic hours for 荒川生協診療所 by day (月, 火, 水, 木, 金, 土).

(受付時間) 午前8:30～12:15 午後1:30～4:00 夜間5:00～7:00 (かぜ専用外来) 月・土11:30～12:15 火・水・金3:30～4:00(予約制)

生協王子歯科 北区豊島3-19-3 ☎3927-9573

Table showing clinic hours for 生協王子歯科 by day (月, 火, 水, 木, 金, 土).

(予約時間) 午前9:00～12:00 午後1:30～4:30 夜間7:30まで 週によって担当医が変わります。詳細は受付まで

生協浮間診療所 北区浮間3-22-1 ☎3558-8361

Table showing clinic hours for 生協浮間診療所 by day (月, 火, 水, 木, 金, 土).

(受付時間) 午前8:40～12:00、午後1:40～4:15、夜間5:40～7:15 (かぜ外来)(予約制)

江北生協診療所 足立区江北2-24-1 ☎3857-6636

Table showing clinic hours for 江北生協診療所 by day (月, 火, 水, 木, 金, 土).

(受付時間) 午前8:40～12:15、午後2:10～6:00

汐入診療所 荒川区南千住8-10-3-101 ☎3807-2302

Table showing clinic hours for 汐入診療所 by day (月, 火, 水, 木, 金, 土).

(受付時間) 午前9:00～12:00、午後2:00～4:30、夜間5:30～7:30

鹿浜診療所 足立区新田2-4-15 ☎3912-8491

Table showing clinic hours for 鹿浜診療所 by day (月, 火, 水, 木, 金, 土).

(受付時間) 午前8:45～11:00、午後水・金:2:45～6:00、(発熱風邪症状外来)11:00～12:00(予約制)

お知らせ

3月31日をもって、荒川生協診療所通所リハビリテーションと生協北診療所透析室を事業終了しました。くわしくは診療所事務長へお問い合わせください

職員募集

- 医師 ● 看護師 ● 理学療法士
● 作業療法士 ● 言語聴覚士
● 介護職員 ● 調理補助員
● 病棟ケアワーカー ● 事務

法人総務部(代) メールアドレス 3927-8864 t-ho7u5b@t-hokuto.coop

歯ブラシ販売「特売日」
4月 3日、8日、18日、24日
5月 1日、8日、18日、24日、28日
歯科の紹介動画

- 在宅医療部(王子生協病院) 北区豊島3-4-15 ☎3912-6181
訪問看護ステーションほくと 北区豊島3-19-3 ☎5902-7156
ヘルパーステーションのぞみ 北区豊島3-7-2 ☎5390-5998
地域ケアセンターわかば 北区豊島3-19-3 ☎5959-7875
訪問看護ステーションほくと 北区中十条2-7-13 ☎5963-7720
居宅介護支援事業所ハビネス 北区東十条2-8-5 ☎5390-6024
認知症対応型共同生活介護 グループホームほくとひまわりの家 北区西ヶ原2-24-8リッセル飛鳥山1・2階 ☎5980-6222
訪問看護ステーションほくと 荒川区荒川4-54-5 ☎3803-1179
サテライト虹 あらかわ虹の里デイサービス 荒川区荒川4-54-5 ☎3803-1179
ヘルパーステーション虹 荒川区荒川4-54-5 ☎5850-3585
地域ケアセンターはけた 荒川区荒川4-54-5 ☎3805-8388
訪問看護ステーションほくと 荒川区西尾久8-13-9 ☎5855-7761
サテライトなでしこ 都市型軽費老人ホーム 荒川区西尾久8-13-9 ☎5855-7801
ほくと西尾久虹の家 デイサービスセンターなでしこ 荒川区西尾久8-13-9 ☎5855-7447
訪問看護ステーションほくと 足立区新田2-4-15
サテライトたんぽぽ 鹿浜診療所2階 ☎5390-8451
鹿浜診療所通所リハビリ 足立区新田2-4-15 ☎5902-7179